

オクラ



ネバネバ野菜として人気のオクラ。細かく切り刻むほど、ネバネバが増してきます。
βカロチンやカリウム、カルシウムを豊富に含んでいる夏野菜です。

作型

高温性で光を好む。肥切れしないようにし、長く収穫する。開花後7日～10日ぐらいの若莢を収穫する。
土壌の保水性・排水性をよくするため、堆肥などを施用する。夏場、土が乾燥しないよう敷きわらをする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え					○	■	■	■	■	■			アーリーファイブ、グリーンロケット

○：種まき ■：収穫

畑の準備・播種(定植)

土づくり a当たり	
堆 肥	300kg
セルカ (有機石灰)	12kg
播種(定植)1ヶ月前に土とよく混合	
元 肥 a当たり	
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 畝幅120cm
- 株間40～50cm
(2条千鳥植
条間50～60cm)

追肥・中耕

- 本葉4～5枚のころ畝の肩を中耕し、野菜専用肥料を5kg/a施用し肩を上げる。
- 花が咲き始める頃から、15日～20日おきに追肥する。(野菜専用肥料4～5kg/a)



種まき

- 種子は一晩ぬるま湯につけ、十分給水したものを1ヵ所に4～5粒まき覆土を1.5cm～2.0cmとする。(地温が低いと発芽不良を起こします。)

間引き

- 本葉3～4枚の頃、間引いて2～3本にする。

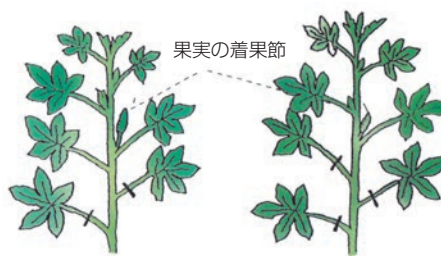
敷きわら

- 日光が強くなる梅雨明け後は土が乾燥しないよう株元に敷きわらをする。

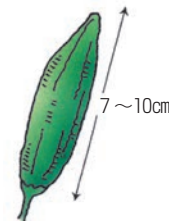


下葉とり・収穫

- 下葉が込み合ってきたら、着果節以下1～2枚残して摘除する。



とり遅れないよう若さを収穫する。



防 除

病害虫名	耕 種 防 除
うどんこ病	窒素の多施用を避ける
アブラムシ類	寒冷紗で飛来を防止する 光反射テープを張る
ハスモンヨトウ	早期発見につとめ幼虫を捕殺する
オオタバコガ	早期発見し捕殺する

※薬剤防除に関しては、一宮宮農経済センターにご相談ください。

サツマイモ



サツマイモに含まれるビタミンCは、でんぷんに守られて加熱しても壊れにくいそうです。豊富に含まれているカリウムは、塩分を排泄し高血圧に効果があります。

作型

気温が十分上がってから植え付ける。マルチ栽培すると生育を促し、早く収穫（9月から）できる。排水の悪いところへの作付けは避ける。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
マルチ栽培					△	△	—	■	■	■	■		鳴門金時・高系14号・ベニアズマ

△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり aあたり

堆肥 100kg
セルカ（有機石灰） 10kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合

元肥 aあたり

油粕 5~7kg
BMようりん 4kg
畝立時施用

■苗の準備

開いた葉が5枚以上（重さ15g以上）
苗とり直後の植え付けは、強い日差しや風で弱ってしまうので注意する

- 1条植え：畝幅70~80cm
株間：30~40cm
(植え付け時は葉は埋めない)
- 雑草防止に黒マルチを利用しても良い



〈苗の植え方〉



中耕・土寄せ

- 6月中下旬頃に畝間を軽く株元に土寄せする。(いもの肥大に効果がある)

防除

病害虫名	耕種的防除
コガネムシ類	未熟有機物の施用は避ける
イモコガアブラムシ類	ふ化直後の幼虫を除去する

※薬剤防除に関しては、一宮営農経済センターにご相談ください。

収穫

- 4~5日晴天が続いた日を選んで、いもに傷がつかないように掘り取る。

貯蔵

- 温度13℃、湿度80~90%が理想の条件である。
- 部屋の中で貯蔵する場合は、モミガラを入れた発泡スチロール箱などに入れ、ふたには空気穴を開けておく。モミガラがない場合は一つひとつ新聞紙にくるんで入れる。